

様式 2

令和 3 年度 第 2 回学校評議員会 会議録

開催日時	令和 4 年 3 月 8 日(火) 16:30 ~ 17:25	
会場	北海道滝川高等学校 校長室	
出席者数	学校評議員 1 名	学校職員 5 名
出席者名	学校評議員	校長、教頭(全日制)、教頭(定時制)、事務長、主幹教諭
校長が意見を求めた事項		学校評議員の意見
校長から今年度の学校経営及び SSH 3 期目に向けて、また、全日制・定時制教頭から学校評価や SSH 中間評価等について説明した。		
説明事項についての質疑・意見等	<p><b>【質疑】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価の説明の中で、観点別評価とあったが、それはどのようなものなのか。また、進学等にも影響はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観点別評価の概要の説明。大学等の推薦書でも観点別での記載が求められるようになっている。</li> </ul> </li> <li>2 SSHの中間評価が高評価だったことは素晴らしい。要因は何か。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校体制がとられていること、外部機関との連携が評価されたものと考えている。</li> </ul> </li> <li>3 定時制の受検者が少なかった要因は何か。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時制を最初から希望する生徒が少ないこと、通信制などの選択肢が増えていることがあげられる。また、管内の全日制の学校の多くが定員割れをしている中で、定時制が志望する生徒が減っているのではないか。</li> </ul> </li> <li>4 全日制の入学者選抜で高倍率だった要因は何か。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校の説明会で、分かり易い単位制の説明を行ったことや、本校の教育活動が地域においても認められてきているものと理解している。</li> </ul> </li> </ol> <p><b>【意見】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 部活動で地区予選に出場予定だったが、直前になって助っ人が認められず、出場できなかつたと聞いた。部員数の少ない部活動の生徒でも、生徒の自己実現のために、他校と合同チームを編成するまたは助っ人を借りることを認めるなど配慮して欲しい。</li> <li>2 コロナウイルス感染症対策は徹底して実施していると思うが、今後も、昼食時の巡回や換気の徹底などの対策を引き続いて行っていただきたい。</li> </ol>	
上記のとおり会議を開催した。		
令和 4 年 3 月 9 日 北海道滝川高等学校長 古川 栄一		